

「Fukuoka Art Next」 今月のアート（5月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、市民が身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進しています。

その事業の一環として、奇数月初めの定例会見に、福岡で活躍しているアーティストの作品を紹介します。

■ アーティストについて

後藤大輝（ごとう たいき）

2005年、北九州市生まれ。九州産業大学3年に在籍し、写真映像メディア学科で学ぶ。

音楽やファッションから受けた印象をもとに、新旧の写真技術とコラージュの手法を使い、手間を重ねることで、むしろ「不完全な造形の魅力」を創出しようとする。現代の虚実入り混じる情報社会を象徴するような、現実と幻想の混在する世界観を表現する。

2025年「Fukuoka Wall Art 賞 2025」入賞

■ 作品について



作家名 : 後藤 大輝
作品名 : 混在 再構築
制作年 : 2025年
材質技法 : 写真、コラージュ
サイズ : 51.5×72.8 (cm)

風景が高速で飛び去るようです。これは、アナログとデジタルの両方で撮影された福岡の空と建物の写真5枚を、細長く切って分解し、何層にも重ねて作られています。

作者は、世界中の古着を再構成して新しい一点物の服を作るブランド「メゾン・マルジェラ」に共感し、新旧の写真技術とコラージュの手法により「今と昔が混在するような、新しい夢の景色を創造したかった」と、その意図を語っています。

まさに、デジタル世代による新しい写真表現と言えます。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：ラワンチャイクン

TEL：714-6054 FAX：714-6145

E-mail：rawanchaikul.t01@city.fukuoka.lg.jp